

ビジネス科 SAH簿記講演会

4月17日(金)、本校において1年生対象の簿記講演会が行われました。日本商業教育振興会代表理事の小島一富士先生に、「ビジネス社会で必要な企業言語とは?」という題で講演していただきました。参加した生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

SAH(Super Accounting Highschool)とは、日本商業教育振興会と朝日大学体育会会計研究部、高崎商科大学経理研究所と連携し、生徒の日商簿記検定への挑戦を支援する取り組みです。この連携事業により、本校 ビジネス科生徒は、日商簿記3級・2級を取得するための支援を受けることができます。



【生徒の感想】

- ・ビジネス社会では、簿記がとても大事だということを再確認しました。会社経営が今どんな状況か知るには会計でしか分からない。簿記を身につけると企業の経営が透き通って見えるから、これからの会社の動きにも深く繋がっていると実感した。
- ・公認会計士の方が来ると知って、今日まで楽しみにしていました。私の将来の夢は公認会計士になることです。実際に公認会計士とはなにか、どんな仕事なのかなどを聞くことができすぎて嬉しかったです。